

すまいる きづ川

秋号

もっと知りたい!
スタッフインタビュー

城陽名所めぐり
淀姫さんの祠

回復期リハビリテーション
病棟がスタート

医療トピックス
全自動グリコ
ヘモグロビン測定装置

パートナー医院を紹介します
鹿野医院

第24回 京都きづ川病院
運営協議会開催

ニュース掲示板



バランス感覚を大切に 医者である前に 一人の人間として成長し続けたい

京都きづ川病院 救急センター医長

國嶋 憲 先生

医者である前に
一人の人間として
成長し続けたい

京都きづ川病院の「救急センター」には、市内をはじめ、京田辺市や精華町などから年間およそ3、000人が搬送されてきます。私を含めて3人の医者が交代で対応にあたっているのですが、中には一刻を争う患者さまもいらつしゃるので緊張が続く職場です。

私が一番大切にしていることは「バランス感覚」です。医者という職業は、患者さまからすれば対等に接しにくい存在ですが、私はたまたま医療の専門的な知識がある

だけで、人間的には誰とでも対等ですし、そういう存在でありたいのです。医療従事者として最先端のよりよい医療を患者さまに提供できるように日々研鑽することも大切ですが、病院外の人々と交流を広げたり、色々なことに積極的にチャレンジするなどして自分のキャリアを伸ばし、医師である一人の人間として成長し続けたいと思っています。

「応急手当の講習会」はぜひ受講してください

京都きづ川病院では、病院の事務スタッフや清掃、警備スタッフに至

るまで、応急手当の知識や技術を身に付けてもらうために、各機関協力のもとで、毎月1回以上「応急手当の講習会」を行っています。救急現場では、救急車が来る前の応急手当次第で、救命率が上がるといっても過言ではありません。少しでも応急手当の知識があれば、落ち着いた行動ができるでしょうし、その処置によつて患者さんの命が救われるかもしれないのです。講習会は決して難しい内容ではありませんので、みなさんも機会があれば一度受講してください。健康について改めて考えるよいきっかけにもなるのではないのでしょうか。





患者さんと接する期間は短いけど それだけに密度の濃いコミュニケーションを 心がけています

京都きづ川病院 中央材料室・手術室師長 衛 すま子さん



心身ともに 極限状態になることも

京都きづ川病院に勤務して今年で19年になります。この間ずっと手術室を担当してきました。一刻を争う重篤な患者さんや、あらかじめ予定されていた人など、数え切れないほどの手術に立ち会ってきました。短い手術は30分ほど、長いものは十数時間に及び、心身ともに極限の状態になることもしばしばです。もちろんドクターは私たちとは比べようもないくらい、身も心もすり減らしておられます。

私たちの仕事は、手術に際してまず器具を準備することから始まり、手術が行われている間は執刀医のサポート、血圧や呼吸など患者さんの状態の管理、そして術後には手術器具の後かたづけ、消毒などです。手術はドクターをはじめ看護師など複数のスタッフで行われますから、術中のチームワークがなにより大切、いわば「阿吽あうんの呼吸」が要求されるわけです。さらに医療器具の進歩は日進月歩ですから、その操作の仕方をマスターするのも苦労の一つです。そのため10名のスタッフたちは院内・外の研修会や勉強会に参加して学習を重ねています。

この職業は私の天職。 一生続けていくつもり

一般病棟の看護師さんと違って、私たちが患者さんと接する時間は多くありません。その短い期間の中で、私たちは患者さんやご家族に対して手術の内容や術後の予定など、自分が手術を受ける立場になつて丹念に説明し、できるだけ不安や緊張を取り除いてあげるように務めています。患者さんはも

ちろん、ご家族の方も不安でいっぱいなのですから。

体力もさることながら神経戦の色合いの強い仕事ですから、休日には家のことやウインドーショッピングなどでストレス解消。ONCALL（オン・コール）といつて、休日でも緊急時の手術に対応できるように「待機」しておくシステムがあり、一時も気を抜くことができません。手に職を付けておと思うて選んだこの道が、今では天職とすら思え、一生続けていくつもりでこれからも頑張っていきます。



奈島の守り神 淀姫さんの祠

奈島の老人福祉センター「陽寿苑」から木津川堤を北へ500mほど行くと榎の太木が見えてきます。その下にある小さな祠は「淀姫さん」と呼ばれ、昔、大雨の時にこの地に流れ着いたものを、地元の人々が水難除けの守り神として祀ったのだそうです。今回は、この「淀姫さん」についてご紹介します。



「淀姫さん」は 日本神話の女神・豊玉姫命

桂川、宇治川、木津川の合流地点にある京都市伏見区の淀は、かつては水運の要衝として栄えたところでしたが、水害に悩まされた地域でもありました。淀の氏神である予杼神社の祭神は、豊玉姫命・高皇産靈神・速秋津姫命の三神で、古くは「淀姫神社」とも呼ばれていました。豊玉姫命は、日本神話「海幸山幸」に登場する海神の娘。兄に借りた釣り針をなくした山幸彦が、それを探しに海宮に赴いた時に

恋に落ちた相手なのです。海神から水を自由に操れる玉を授かった山幸彦は、その後兄を降伏させます。この神話から想像できるように、淀では豊玉姫命が水難除けの守り神としても信仰されてきたことがわかります。

城陽市の奈島もまた、「奈島の水つき」という言葉があるほど、たびたび水害に見舞われた地域でした。昭和29年に「生口樋門」に動力排水ポンプが設置されるまでは、3年に一度は付近の田畑が冠水する被害を受けたそうです。樋門近くに「淀姫さん」が祀られている背景には、そんな事情があるようです。

緑溢れる木津川堤は 市民の憩いの場

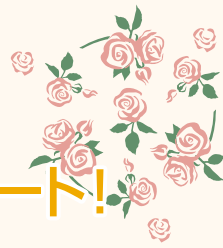
かつてはたびたび氾濫し人々を困らせた木津川ですが、今で

は堤防も強化され、その堤防は川辺の散策路として市民に親しまれています。

久御山町との境にある石田神社の碑から新大山城大橋まで、城陽市域の木津川堤間(約6km)の6地区は「木津川・緑と水辺のやすらぎ回廊」として整備され、約1kmごとに景観に合わせたベンチやトイレが設置されているほか、桜や梅木、ツツジ、ヤマブキなどの低木も植栽されています。また、野鳥が飛来する冬にはバードウォッチングが楽しめます。

四季折々に美しい表情を見せてくれる市民の憩いの場・木津川堤は、ウォーキングやサイクリングなど、健康づくりの場所としても最適です。

集中的なリハビリテーションで、患者様の家庭や社会への早期復帰をお手伝い



1病棟50床

回復期リハビリテーション病棟がスタート!

京都きづ川病院では9月1日、回復期リハビリテーション病棟（1病棟50床）を開設しました。充実した設備とスタッフで、患者様の社会や家庭への早期復帰を全面的にサポートします。

「回復期」とは、骨折や脳血管疾患などの手術や治療を受けて病状が安定し始めたころのこと。この時期に集中的なリハビリテーションを行うことが最も効果的です。

回復期リハビリテーション病棟では、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが共同で作成したリハビリテーションプログラムを基に、患者様の日常生活活動能力の向上を図るリハビリテーションを提供いたします。



京都きづ川病院 リハビリテーション室



京都きづ川病院には、回復期リハビリテーション病棟とは別に、リハビリテーション室もございます。患者様の自主性を尊重しながら、患者様一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを提供します。

なお、医療福祉相談員が、患者様ご家族とスタッフとの連絡・調整役や介護保険等の手続きなども引き受けますのでお気軽にご相談ください。

リハビリテーション室の紹介

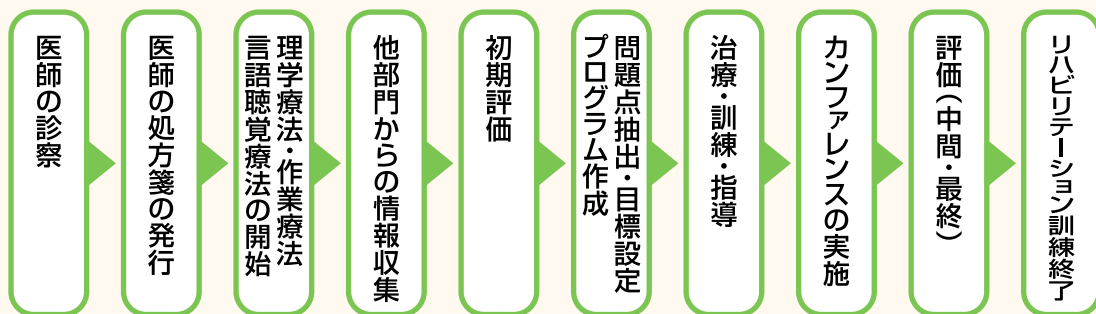
- 理学療法科／スタッフ21名
起き上がる、立つ、歩くなど、日常生活に必要な基本動作の訓練をご指導します。
- 作業療法科／スタッフ9名
手や腕、足などの身体機能の改善や、食事やトイレなどの日常生活活動を行いやすくするための援助を行います。
- 言語聴覚療法科／スタッフ5名
コミュニケーション（言葉）や食べ物の飲み込みの訓練をご指導します。

治療対象患者様

- 脳血管疾患等リハビリテーション
- 運動器リハビリテーション
- 呼吸器リハビリテーション



リハビリテーションの流れ



治療時間／9:00～17:00 外来／8:30～11:45(受付) 月～土(祝日・年末年始を除く)

TOPICS

少量の検体でも即時に 高精度検査が可能 全自動グリコヘモグロビン測定装置

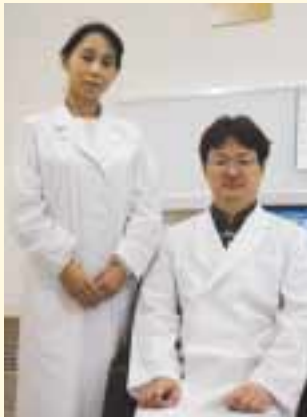
日本の糖尿病人口は、潜在患者を含めるとおよそ1,300万人ともいわれています。糖尿病の治療で重要なことのひとつは血糖値をコントロールし、様々な合併症の発病を防ぐこと。京都きづ川病院では、血糖管理指標として不可欠な検査項目へモグロビンA1cの検査方法の中でも、最も信頼性の高いHPLC法（高速液体クロマトグラフィ法）による全自動グリコヘモグロビン測定装置を導入しています。ヘモグロビンA1cを高速（90秒/検体）で全自



動処理する機能は、診療前検査や臨床へのリアルタイムなデータフィードバックを実現。少量の検体でも即時に高精度検査ができるので、患者さんへの負担も軽くなり、より適切な診断を可能にします。

パートナー医院を紹介します

鹿野医院 内科・消化器科・小児科・外科



鹿野啓子先生(左) 鹿野康治先生(右)

主人と二人三脚で 地域に根差した医療を 目指したい

「祖父が開業した医院を継いだ父親が、80歳になったのを機に昨年引退。娘の私と内視鏡専門医の主人の二人で三代目を継ぐことになりました」と啓子先生。当院での診察のほか、地元の幼稚園や小学校の校医、企業の企業医、さらにケアマネージャーの資

格を生かして介護の審査委員を務めるなど、地域と密接に関わりながら多忙な毎日を過ごされています。「私たち夫婦が先代から引き継いだのは、地域の患者さんからの信頼です。その思いを大切に次世代に繋げれば」と、ご主人と二人三脚で地域に根差した医療サービスに取り組んでいきたいと話されます。

京都きづ川病院が開業したときからのお付き合いで、「これまでも外科の手術が必要な方など、たくさんの患者さんをお願いしてきましたが、いつも丁寧な対応をしてくださいます。それに、京

都きづ川病院は介護施設が併設されているので、介護が必要な患者さんを持つご家族にも安心して紹介できます」と語ってくださいました。

携帯電話を使った診察予約システムが大好評

「最近、特に増えてきた大腸ガンを早期に発見・治療するためには、内視鏡検査は最も優れた方法です。当院では麻酔を使うなど、患者さんの心身の負担にならないようなガン検診を心掛けています。心配な方はぜひ受診してください」。初期ガンであれば、内視鏡手術だけで完治する場合もあるとのこと。

電子カルテ化やキッズルームの設置をはじめ、診察までの待ち時間を少なくするために始めた、携帯電話を使った診察予約システムが若い世代の来院者に大好評。さらに、高齢者の方が待ち時間を有効に使えるようにとの配慮から、リハビリテーションの機器を揃えるなど、きめ細かなサービスが口コミで広がり、遠方からの来院者も増えています。「どんな小さなことでも気軽に聞いてもらえるような、患者さんに身近な存在でいたい」と話す両先生の優しい表情が印象的でした。



鹿野医院
城陽市富野西垣内21
TEL.0774-52-0441

地域に開かれた医療機関を目指して

第24回 京都きづ川病院運営協議会開催



7月20日（木）、文化パーク城陽大会議室で、第24回「京都きづ川病院運営協議会」が、地元の行政、警察、消防、福祉団体の代表者ら約50人を迎えて開催されました。

1980年4月に開業した当院では、地域に開かれた医療機関を目指して「病院運営会議」（当時の名称）を設け、毎年この時期に開催し、地域住民の皆様の声を病院運営に生かしています。

はじめに当院の中野博美理事長が、現在の病院経営を取り巻く状況を医療全体の基本問題にからめて挨拶。また、来賓からは「今後も高度な医療ノウハウを発揮し、市民が生き生きと暮

らせる地域社会を支えて欲しい」などの謝辞を含む祝辞をいただきました。

続いて丸山恭平院長が、「回復期リハビリテーション病棟の開設」「院内感染予防チームの立ち上げ」「禁煙外来の設置」など新規業務の実施計画を説明。その後行われた懇親会では、出席者同士が意見を交わすなど、有意義な時間を過ごしました。

改めて、日頃から当院を支え、応援して下さる皆様に深くお礼申し上げます。



京都きづ川病院の理念・基本方針

理念 献身と信頼

基本方針

1. 患者さまとの出会いを大切に、期待と信頼に応えるように医療を提供します。
2. 患者さまとその周囲の人々をいやす気持ちを持って、献身的に医療を提供します。
3. 急性期医療では、質の高い医療を提供し早期退院を目指します。
4. 慢性期医療では、安心して在宅生活が過ごせるように支援します。
5. 開放型病院として、地域医療機関や福祉機関と連携を推進します。

ニュース掲示板

病院内の行事や予定などのインフォメーションコーナーです。ぜひ、ご覧ください。

秋の健康まつり開催

参加
無料

と き || 10月22日(日) 午前11時～午後3時
と ころ || 京都きづ川病院1階 フロア

健康測定 コーナー

健康な身体づくりは、
自分の健康状態を
知ることから始まります!
ふるってご参加ください。

模擬店コーナー

たこ焼き
ポップコーンなど

子どもコーナー

ものづくり体験
でんでんゴリラ ペタンコスタンプ

身近にある材料で、あんなものや
こんなものまで作れます!
材料はこちらで用意します。

アトラクション

和太鼓演奏
(午前11時～11時30分)

ストラックアウト・輪投げ
バターゴルフ・景品



華道展

と き || 10月22日(日)～31日(火)
と ころ || 京都きづ川病院1階待合室に展示

ウクレレショー

と き || 11月6日(月) 午後2時～3時
と ころ || 京都きづ川病院4階 講堂



看護師さん募集のお知らせ

回復期リハビリテーション病棟開設のため、
正・准看護師を募集しています。
詳細は看護部までお問い合わせください。
やる気のある方のご応募お待ちしております。

●お問い合わせ先●
TEL.0774-54-1111 (内線2421) <担当:看護部 寺井>

看護師さんの再出発を応援します

「もう一度、看護師として働いてみたいけど、
長いブランクが…」と不安にお思いの方を対象に、
看護力再開発無料セミナーを開催します。
自信を取り戻し、看護師として再出発しませんか?

●お問い合わせ先●
TEL.0774-54-1111 (内線2421) <担当:看護部 山田>

最良の医療サービスを提供するために、皆さんからのご意見をお待ちしております。
医療に関する疑問、質問など、お気軽にお寄せください。

啓信会グループ

京都四条病院 きづ川クリニック 老健施設 萌木の村 デイサービスセンターリエゾン 萌木の村
訪問看護ステーションきづ川はろー 訪問看護ステーション 萌木の村 ヘルパーステーション 萌木の村 21
ヘルパーステーションリエゾン 大津 ヘルパーステーションリエゾン 大久保 在宅支援センター 萌木の村 ヘルパースクール 萌木の村
ヘルパースクール 萌木の村 大久保校 ヘルパースクール 萌木の村 大津校 グループホームリエゾン くみやま



医療法人 啓信会 京都きづ川病院

診療科目 内科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科・小児科・外科・
肛門科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・
麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科

受付時間 午前8時30分～午前11時45分
*午後・夜・日・祝は休診 *内科系はきづ川クリニックにて診療

〒610-0101 城陽市平川西六反26-1 ☎0774-54-1111 FAX 0774-54-1119
URL <http://keishinkai.dip.jp>



近鉄京都線「久津川」駅から徒歩15分
近鉄京都線「大久保」駅からタクシー10分